

兵庫県 御中

 AD 地方創生プロジェクト



**テレマティクス交通安全マップを活用  
した小学生向け授業のご提案**

2026年6月

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は弊社業務に関し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご存じの通り、年齢別の交通事故死傷者数は7歳児などの低学年や高齢者が多く、また、歩行中が多いことから、歩行者×自動車の交通安全に対する取組は喫緊の課題のひとつです。

また、文部科学省から、令和3年に「通学路における合同点検の実施について」、令和4年に「第3次学校安全の推進に関する計画」に基づき、学校安全に関する取組の推進が発信されております。

そこで、弊社が展開しております、テレマティクス技術を活用した支援策をご用意いたしました。

つきましては、本日は、以下に小学校に向けた、授業内容をご提案申し上げますのでぜひ、ご高覧・ご検討のうえ、ご採用賜りたく何卒宜しく願いいたします。

敬具

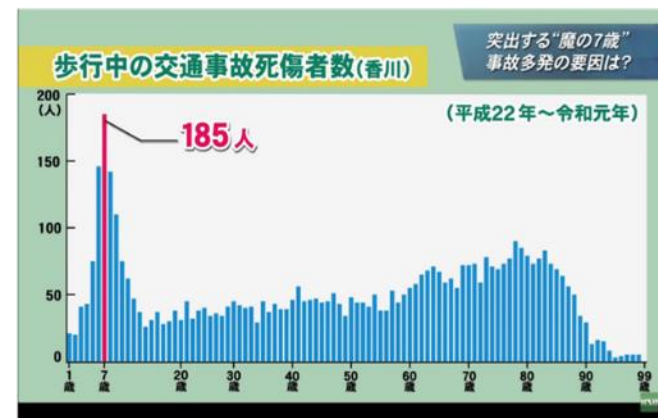
1. 通学路における事故の現状
2. 児童の交通安全を巡る社会の動き
3. 弊社のテレマティクス技術とは
4. Web版テレマティクス交通安全マップとは
5. **ご支援策： Web版テレマティクス交通安全マップ活用した  
小学生向け授業**
6. ご参考：授業の様子
7. 役割分担（案）

- ✓ 損害保険会社である当社として、**交通事故削減**の取組みを検討
- ✓ 交通課題の中でも歩行中の死者において、**7歳児が最多**であること、その多くが**飛び出し**によるものであることに着目

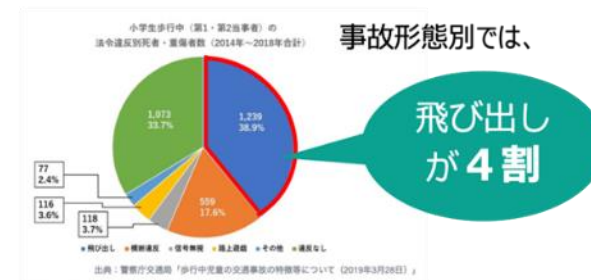


「歩行中」における死傷者数は、7歳（小学生1,2年生）が最多

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bunseki/kodomo/290323kodomo.pdf>



出典：KBS瀬戸内海放送



### ✓ 政府では千葉県八街市での5名が死傷する交通事故を契機に、全国小学校における『安全総点検』を令和3年度から順次実施（文部科学省）

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課長  
各都道府県私立学校主管課長 御中  
附属学校を置く各国公立大学担当課長

文部科学省総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課長

#### 通学路における合同点検の実施について(依頼)

先般、千葉県八街市において下校中の児童の列にトラックが突っ込み、5名が死傷する痛ましい事故が発生しました。各学校においては、日頃より通学路の安全点検を実施していただいておりますが、今回このような事故が起きたことを受け、通学路における交通安全を一層確実に確保することが重要であることから、文部科学省、国土交通省及び警察庁の3省庁が連携して対応策を検討し、今般、別紙のとおり「通学路における合同点検等実施要領」（以下「実施要領」という。）を作成しました。

これは、今回の事故に鑑み、危険箇所の取りまとめにあたっては、

- ・見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所、大型車の進入が多い箇所
- ・過去に事故に至らなくてもヒヤリハット事例があった箇所
- ・保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所

などの観点についての確認が必要との考えに立ったものです。

つきましては、当実施要領に沿って、上記の観点を踏まえた通学路の合同点検等を通じ、関係機関の連携による通学路の安全対策を講じていただきたいと思います。なお、各市町村においては、これまで学校、教育委員会、道路管理者及び地元警察署と通学路の合同点検等を積み重ねてきていることから、全ての通学路に対する一斉の再点検を改めて求めるものではなく、上記の観点を踏まえた補完的なものとして、子供の視点にも配慮しながら、これまでの合同点検等の蓄積を十分に活用し、地域の実情を踏まえた効率的・効果的な対応をお願いします。また、児童生徒の安全確保のための効率的・効果的な実施の観点から、また、教員の必要以上の負担とならないよう、その実施に当たっては、通学路の道路管理者や地元警察署との協働によること、また、例えばスクールガード等の見守り活動者の力をお借りするなどの方策を積極的に御検討願います。

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課におかれては域内の市町村教育委員会及び所管の学校に対し、この趣旨について周知していただくとともに、各学校において適切な対応がなされるよう御指導をお願いします。各都道府県私立学校主管課におかれては所轄の私立学校に対し、附属学校を置く各国公立大学法人担当課におかれては管下の附属学校に対し、この趣旨について周知くださるようお願いいたします。

- ✓また、各学校における安全に係る取組を総合的かつ効率的に推進するため、国が策定する計画：**第3次学校安全の推進に関する計画の策定**が課され、令和4年から5か年計画で実施（文部科学省）

### 推進方策3. 学校における安全に関する教育の充実

- 児童生徒等が危険を予測し、回避する能力を育成する安全教育の充実、指導時間の確保、**学校における教育手法の改善**
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実、関係機関（消防団等）との連携の強化
- 幼児期、特別支援学校における安全教育の好事例等の収集
- ネット上の有害情報対策（SNSに起因する被害）、性犯罪・性暴力対策（生命（いのち）の安全教育）など、現代的課題に関する教育内容について、学校安全計画への位置付けを推進

～記載抜粋～

**安全教育を効果的に実施するためには、体験活動を通じた学びやデジタル技術を活用した学びが有効であると考えられる。**このため、国は、発達の段階に応じて、被災地を含めた様々なボランティア活動などの**体験活動やデジタル技術を活用した学びによる安全教育の推進を図る。**また、**児童生徒等が楽しく前向きに取り組めるような魅力的な授業事例、教職員が活用しやすいコンパクトな授業事例の共有やその推進を図る。**

弊社のテレマティクス技術を活用した小学生向け交通安全授業をご提案



Telecommunication

×

Informatics

## テレマティクス技術

走行データをもとに、運転特性に応じた  
保険料割引・運転アドバイスなど

事故の未然防止につながる サービスを提供



通信車載器等で  
データを取得



# 「テレマティクスデータ」は 量・質ともに損害保険会社として随一の規模！

お客様データ

**211**万台以上※

国内の総走行データ

**約410**億km ※

精緻で粒度の  
細かいデータ

**1**秒間隔で  
密にデータ取得

※2025年10月末時点

- ✓ テレマティクスデータを活用した「Web版テレマティクス交通安全マップ」は  
お客さまへの情報提供・注意喚起や自治体等と連携した交通安全取組みに活用することで、  
社会・地域課題の解決を図り、安全・安心なまちづくりに貢献します。

走行データの収集からテレマティクス交通安全マップが出来るまで・・・

通信機能付き車載器  
搭載の自動車



車載器から  
走行データを取得



保険会社が  
走行データを集約



テレマティクス  
交通安全マップ

走行データを加工し  
マップ上に可視化※



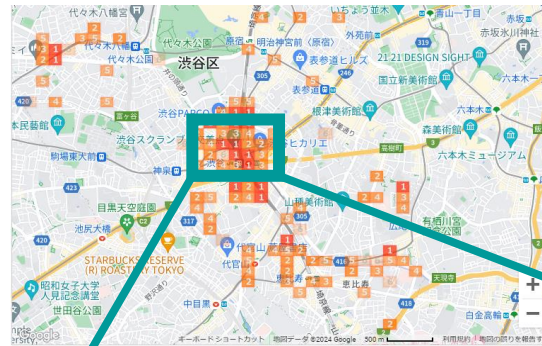
※データはプライバシー保護のため、統計処理の上、個人が特定・識別できないように適切に加工しています。

## 「急減速発生率」に基づく地域の危険箇所候補と「走行量」を地図上で可視化

### 特長①

#### 急減速率、走行量を可視化

急減速率、走行量に応じた色の变化や、ランク区分の表示により交通状況を一目で把握が可能

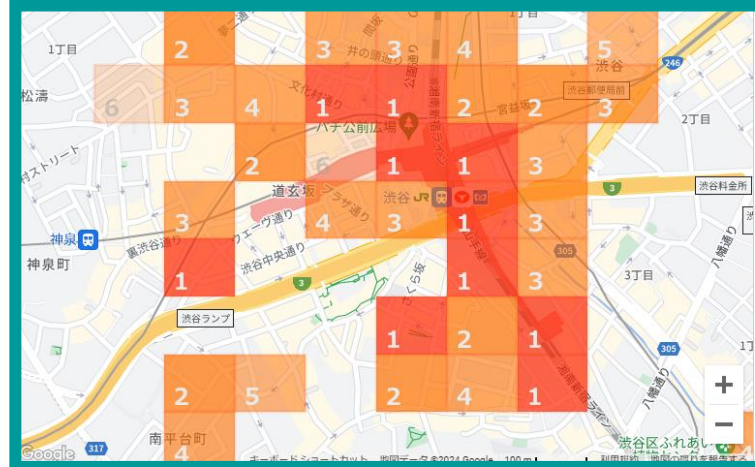


拡大

### 特長②

#### メッシュサイズの拡大・縮小

急減速率は、「市内全域を見渡す500mメッシュ」や、「特定エリアにフォーカスする125mメッシュ」など拡大・縮小が可能



表示データ ?

走行量

急減速率

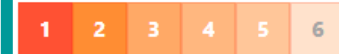
メッシュサイズ ?

約500m

約250m

約125m

急減速率ランク区分 ?



「メッシュ」

…地図上で緯度経度に基づき格子状に区切ったデータ

ご提案する交通安全授業はこのWeb版テレマティクス交通安全マップを活用

車の走行データから、児童と交通安全対策を学ぶ

# Web版テレマティクス交通安全マップを活用した小学生向け授業

## 当社が持つ車の走行データを活用し、道路の危険箇所候補について授業を実施

小学校周辺地域のテレマティクス交通安全マップ※を活用し、道路の危険箇所候補を学び考える授業を実施します。本授業は、自治体・学校の「学校安全の推進に関する計画」における交通安全教育の推進を支援します。

※当社テレマティクス自動車保険契約者データより「急ブレーキ率」に基づく地域の危険箇所候補と「走行量」を地図上で可視化したマップ



### メニュー概要

所要時間目安：30分～



#### 授業の内容（例）

1. 車のデータとは？
2. 急ブレーキや走行量が多い場所はどんなところ？
3. どこに注意すればいいかな？
4. 今日から気を付けること

～授業の様子～



#### 【留意点】

授業実施には、危険箇所候補選定（写真撮影含む）の準備を要します。開催日時はお申込から、約1か月を目安に設定ください。

【対象】小学生

【講師】あいおいニッセイ同和損保社員及び代理店

### ポイント

- ・小学校周辺地域のテレマティクス交通安全マップと実際の写真を用い、「なぜ急ブレーキや走行量が多い場所なのか」「どこに注意しなければいけないのか」について児童が自ら考え、主体的に行動できる授業の実施が可能です。

～授業スライドイメージ～



どこにちゅういすればよいか？



開催日	令和6年5月9日
開催場所	東京都北区堀船小学校
対象	小学3年生 72名
授業内容	Web版テレマティクス交通安全マップの画像と、事前に弊社が撮影した実際の交差点などの写真を活用し、急ブレーキが多く発生している地点について説明。

当日は『なぜこの交差点は急ブレーキが多い危険な場所なのか』『どこに注意しなければいけないのか』児童が自ら考え活発な意見が飛び交うなど盛況。

### 〈児童からの発言の一部〉

- ・通行に注意しなければならないところが地図上に色で見ることが出来てすごい！
- ・見通しの悪いところで注意しなければいけないことが分かった。
- ・通学路の危険箇所を調べてみたい。
- ・商店街での路上駐車にも注意したい。

### 〈校長先生から〉

- ・色の濃さで表示された地図上の危険箇所を実際の写真で見て自ら考えることで、児童が歩行時に注意すべき地点・観点について理解が深まった。
- ・この授業は全国でもニーズが高いと思う。

～授業の様子～



役割分担（案）		小学校	あいおいニッセイ同和損保
①提案時	日時・場所の決定	◎	
②授業スライド作成前 打ち合わせ	授業構成や授業スライド内容の打合せ 実施	○	◎
③授業スライド作成	危険箇所のWebテレマティクス交通安全 マップ・写真を用意し、授業スライドを作成		◎
④授業実施前 打ち合わせ	③で作成した授業スライドにて、 授業のすすめ方など打合せ実施	○	◎
⑤授業実施 準備	〈用意いただくもの〉 ・スクリーン・プロジェクター・HDMIケーブル ・ホワイトボードor黒板	◎	
⑥授業実施	講師は弊社社員、または担任の先生など と分担して実施	○	◎

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
神戸支店  
住 所 : 神戸市中央区明石町19番地  
T E L : 050-3461-6267  
担 当 者 : 細川 忠昭